

## 1. 観光政策について

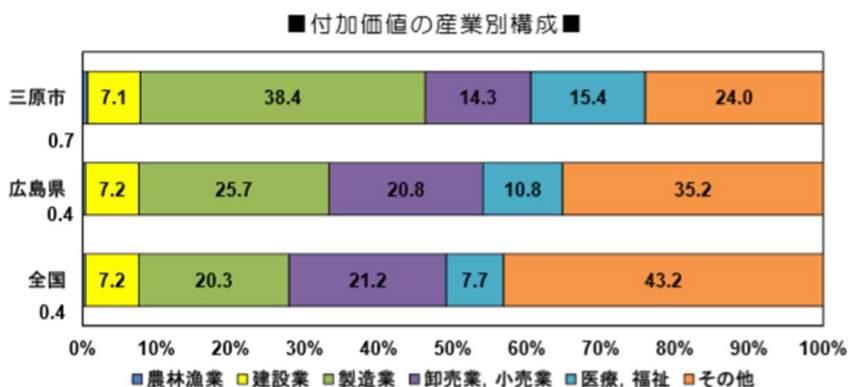
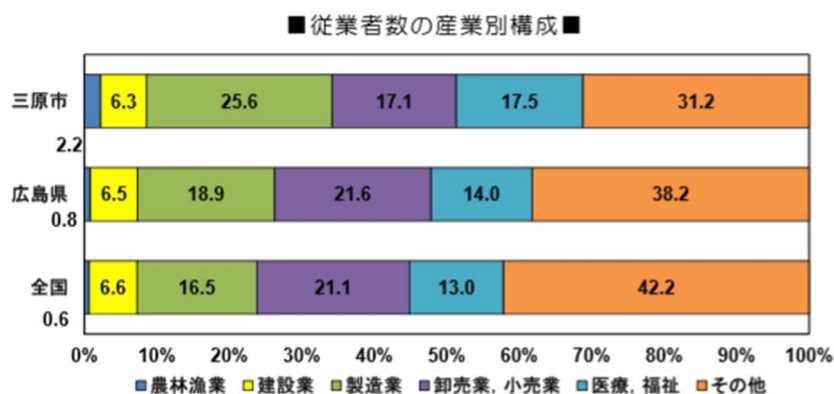
### (1) 観光政策を進める意義について、産業構造の変化に対応していくことを念頭に置かれているか

天満市長が「観光を本市産業の柱の1つにする」と明言されて5年になると思います。本市は、これまで、複数の大企業が立地するものづくりのまちとしての歴史が長く、「三原で観光」ということに懐疑的な声も多くあります。

懐疑的な声は、2つあると感じていまして、1つは、三原で観光産業なんて、成功するのか？ということ。もう1つは、何のために観光に取り組む必要があるのか？です。福祉や教育、農業、防災、インフラ整備などの政策は、三原市民の暮らしを直接支え、より良く充実させていくものとして、必要性がわかりやすいですが、観光政策は、三原市外の人に対して働きかける費用が多く発生し、予算の必要性、妥当性の判断に悩むことがあるのが、私自身、議員をやらせていただく中での実情です。

そこで、1点目は、観光政策を進める意義について、質問させていただきます。

新しくまとめられた「人口ビジョン」において、本市の製造業、医療・福祉、農林水産業の付加価値構成比が、広島県全体や国に比べて、大きな割合になっており、製造業、医療・福祉や農業が基盤産業として本市の地域経済を支えているという分析結果になっています。

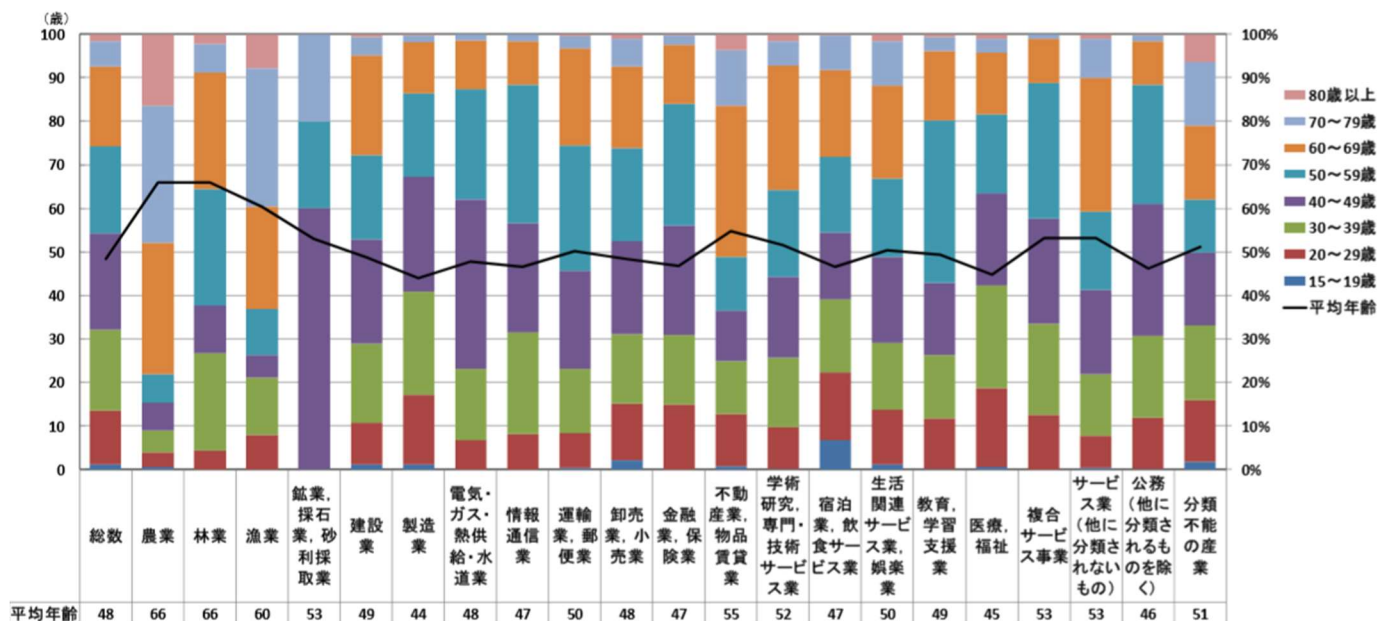


人口ビジョンより

しかし、本市における大企業の縮小や撤退による産業構造の変化や、農業従事者の8割が60歳以上の年齢となっていること、世界的に、モノを作って売るのではなく機能・サービスを提供するビジネス、課題を解決するソリューションビジネスの広がりなどの変化もあります。

「観光を本市産業の柱の1つにする」という観光政策を進める上で、こうした産業構造の変化に対応することを念頭に置かれていますでしょうか？

■産業別就業人口の年齢構成（平成27(2015)年）■



出典：「国勢調査（平成27(2015)年10月1日）」総務省

人口ビジョンより

（2）観光戦略プランにおいて観光消費額を70億円増とする目標を立てているが、どのような試算をされているか

2点目です。昨年3月に策定された第2次三原市観光戦略プランでは、令和5年までの観光消費額を70億円上積みすることとされています。

図表 48 観光消費額の目標値

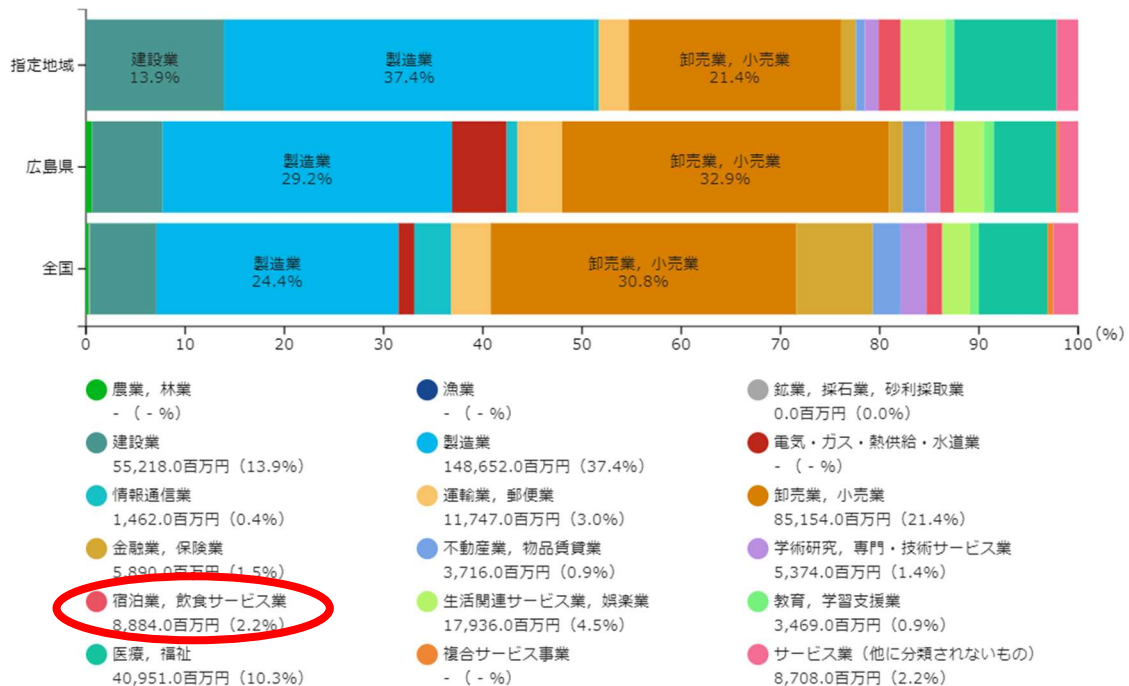
目標指標	現状値 (平成29年)	目標値 (平成35年)
観光客数	450万人	485万人
観光消費額	100億円	170億円
一人当たりの観光消費額	2,244円	3,500円

2016年の三原市の宿泊業・飲食サービス業の売上高が88億円ですので、4年後に70億円の新たな消費が生まれているというのは、大きなインパクトだ

と思います。この数字の実現に向けて、飲食、宿泊、交通など、具体的にどういった消費効果が期待されるのか、試算を行われていますでしょうか？

## 売上高(企業単位) 2016年

指定地域：広島県三原市



(3) 新たに補助金を交付する予定の観光DMCについて、観光戦略プランを推進する上で、これまでの体制がどのように変わるのか。

3点目は、この度、新年度予算としてご提案いただいている観光DMCについてです。

平成27年12月にも、「観光を本市産業の柱の1つにする」ことを、どのように取り組まれているのか質問させていただきました。その際に、三原観光協会をはじめ各事業者と連携を図って、観光商品の造成を進め、市内を周遊する観光客が増える傾向にあることなどをお答えいただきました。

第2次観光戦略プランでは、観光推進の組織体制を強化するために、「地域密着型の専門組織によるマーケティング戦略やプロモーション戦略」「エリア

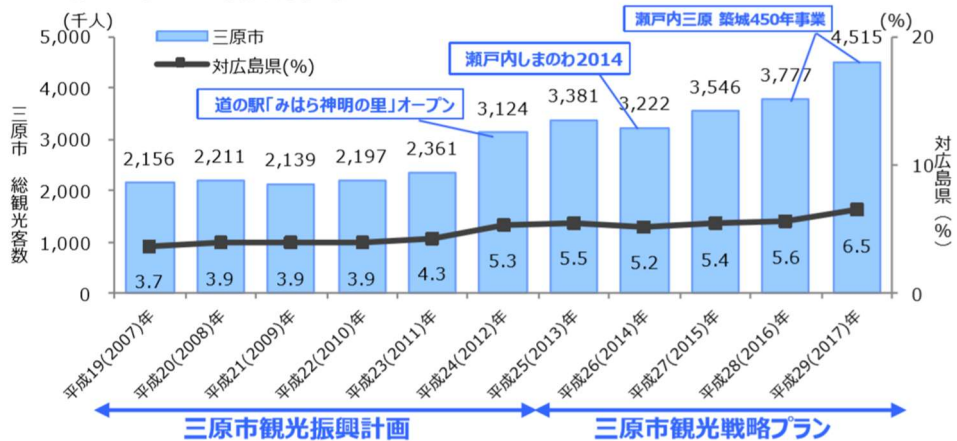
全体の観光振興を進めるための推進組織」が必要であるとされています。これが、今回、予算案として出されているDMCだと思いますが、新たな組織ができることで、観光推進の体制がどのように変わるのでしょうか。三原市行政や、三原観光協会の役割が変わるのでしょうか。

(4) 観光DMCの事業成果を測る指標について、どのように設定され、評価されるのか。

4点目です。冒頭に申し上げたように、観光政策は、何のためにやるのか、何をもって成果とするのかが、非常に重要であると思っております。

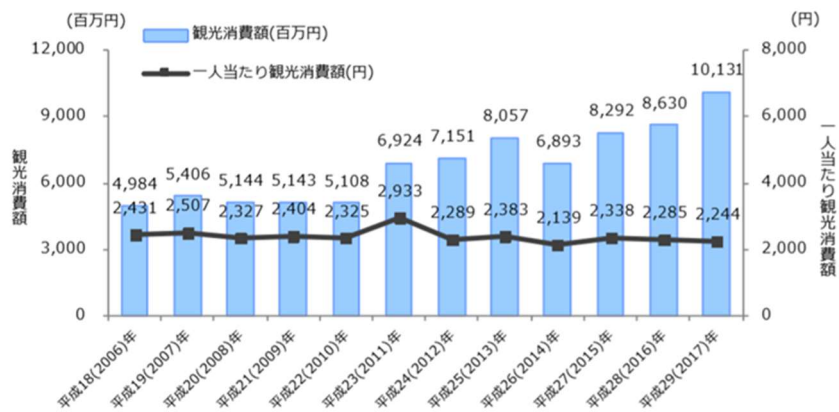
新しくまとめられた「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、DMC提供商品売上額を令和5年に4億8900万円にすること、DMC造成ツアープログラム参加を4800人にすることが、達成度を測る指標とされています。この指標設定の意味は、どういうことなのか、この数字を実現することで、本市の観光や、観光を取り巻く産業がどう変わっていくのか。また、年度ごとの達成度の評価をどのような形で行われるのか、お尋ねします。

図表 24 三原市 総観光客数の推移



資料：広島県「広島県観光客数の動向」(平成 30(2018)年 7月)

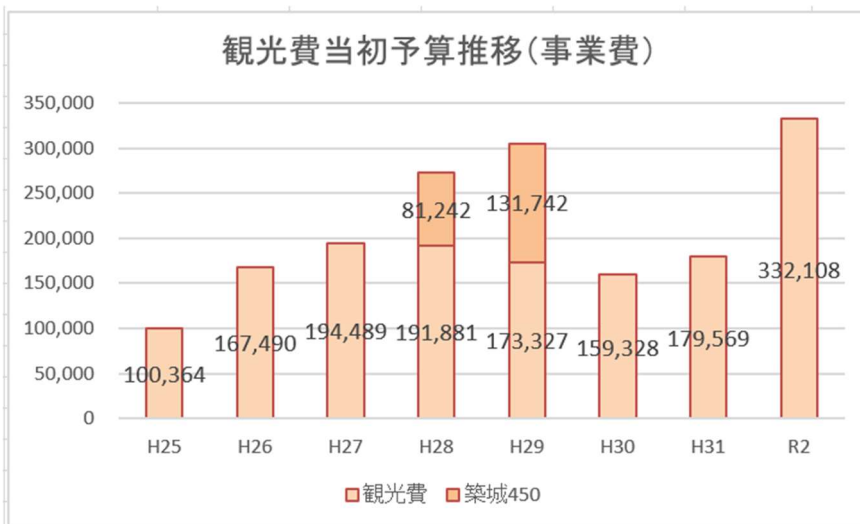
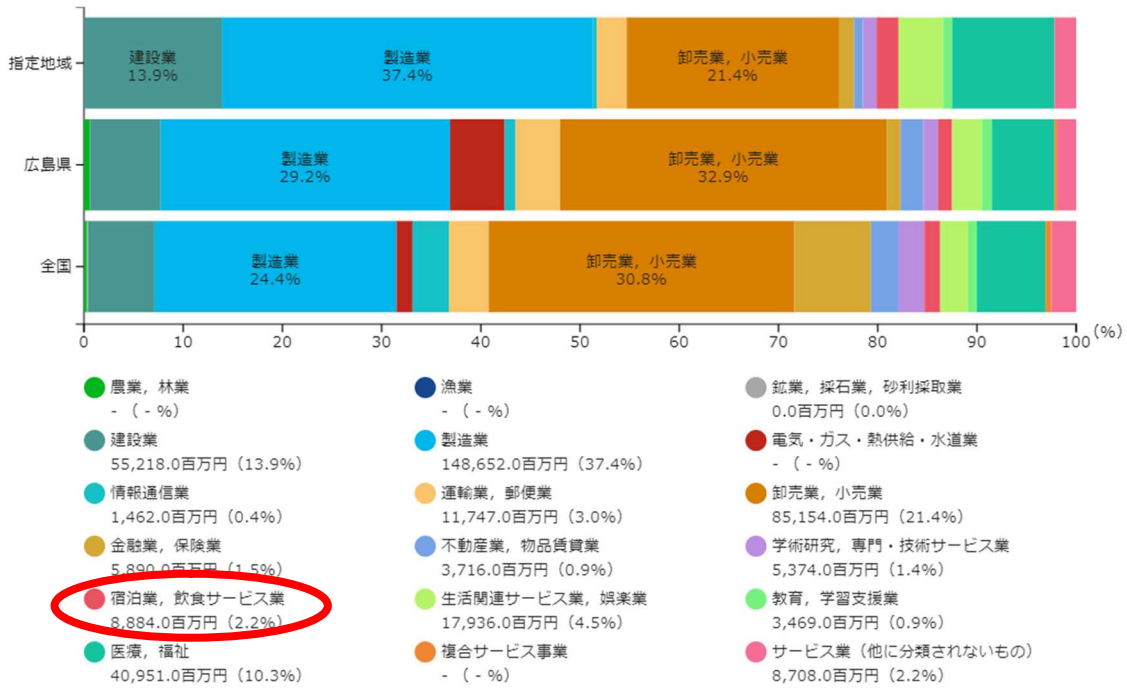
図表 26 三原市 観光消費額の推移



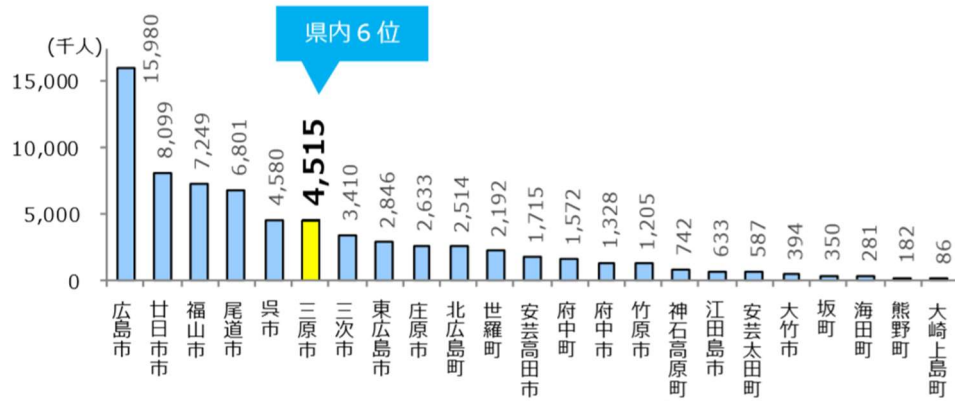
資料：広島県「広島県観光客数の動向」

## 売上高(企業単位) 2016年

指定地域：広島県三原市



図表 25 広島県 市町別 総観光客数



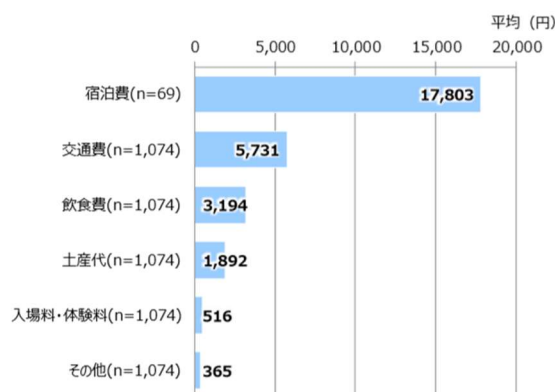
資料：広島県「広島県観光客数の動向」(平成 30(2018)年 7月)

図表 27 広島県 市町別 一人当たり観光消費額

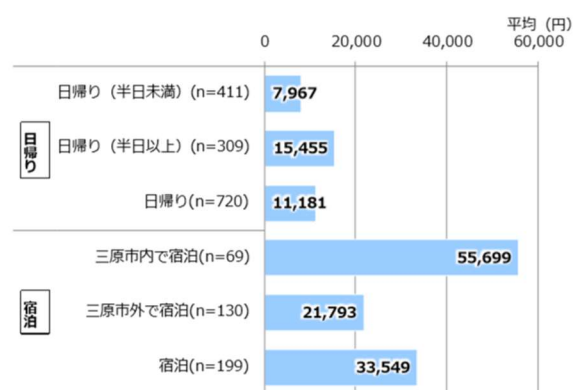


資料：広島県「広島県観光客数の動向」(平成 30(2018)年 7月)

図表 28 観光消費額 (費目別)



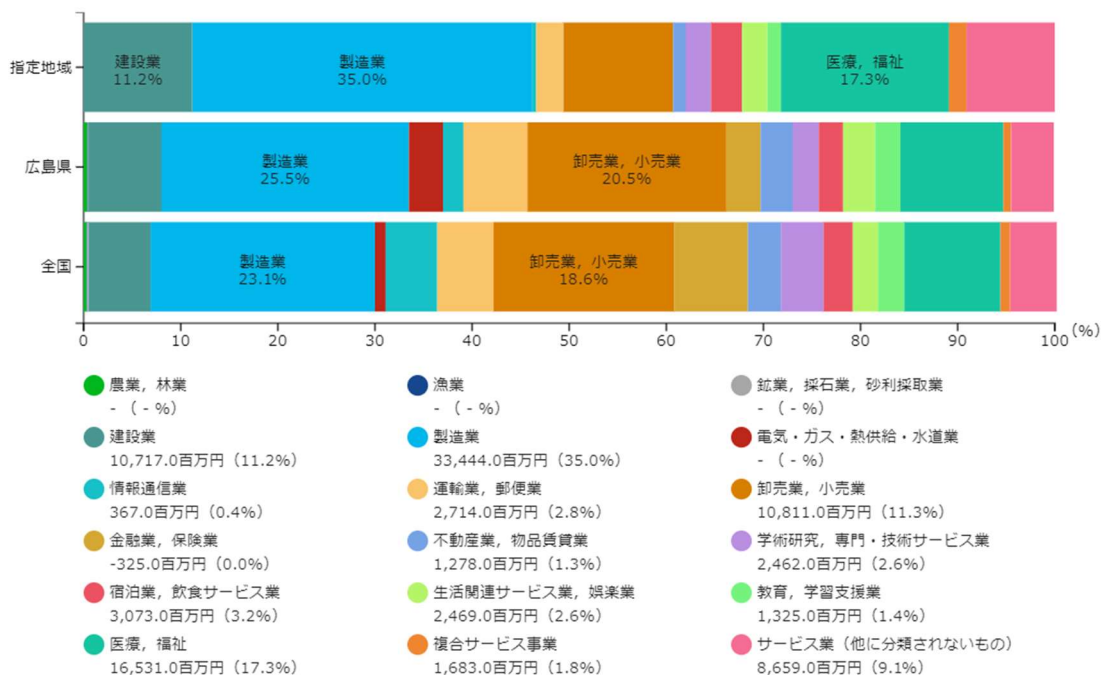
図表 29 観光消費額 (旅行日程別)



資料：「三原市の観光に関するアンケート調査」(平成 30(2018)年 9月)

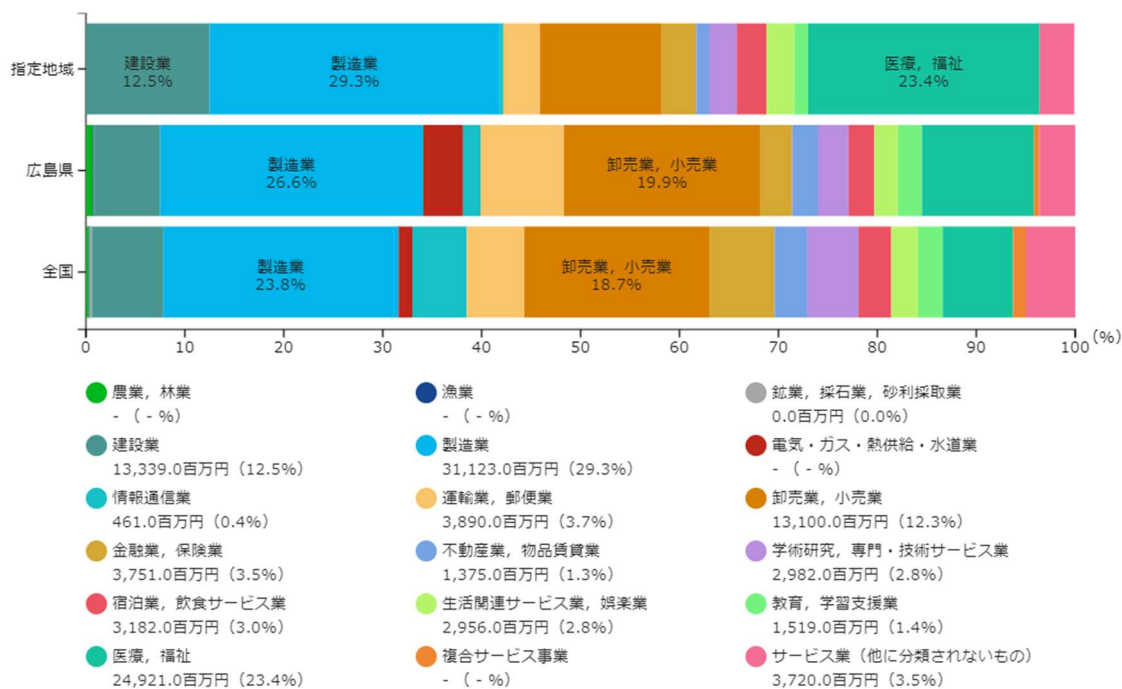
## 付加価値額(企業単位) 2012年

指定地域：広島県三原市



## 付加価値額(企業単位) 2016年

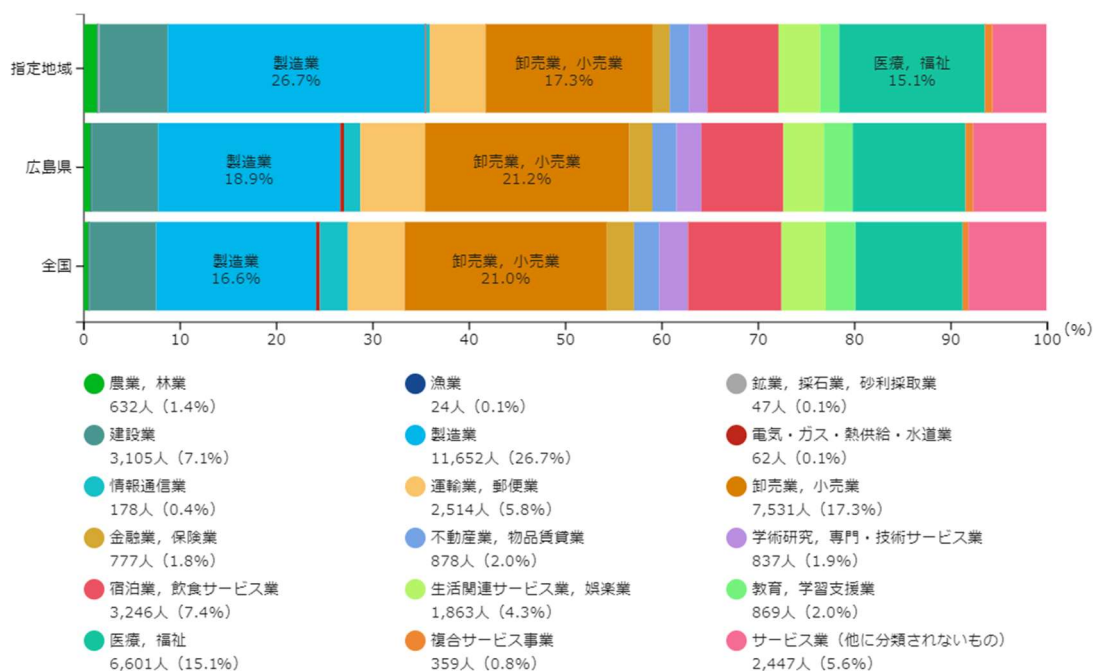
指定地域：広島県三原市





### 従業者数(事業所単位) 2012年

指定地域：広島県三原市



### 従業者数(事業所単位) 2016年

指定地域：広島県三原市

